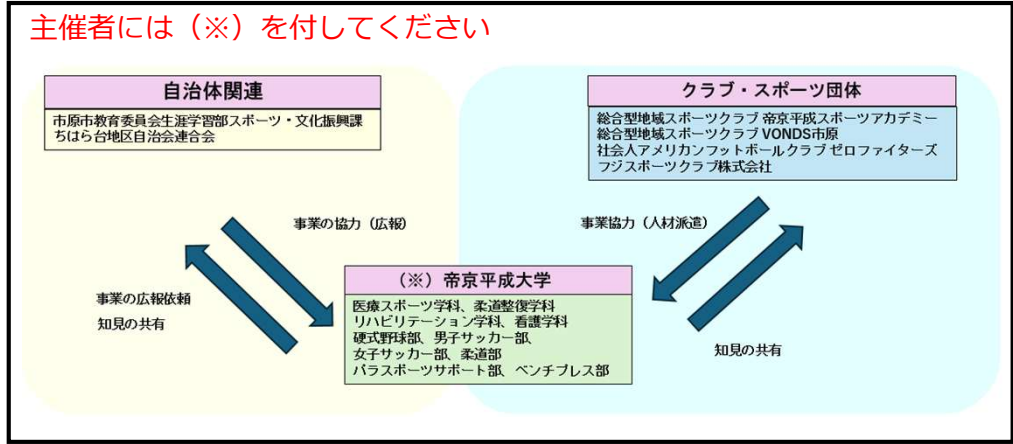


実施計画名	帝京平成大学 市原市ライフタイムスポーツプロジェクト ～スポーツライフから始まる地域コミュニティの活性～
事業概要	①身体機能測定事業 身体機能を測定し、自分の身体状況や健康を「しる」ことを目的とし、健康における知識を深め、スポーツ活動における怪我の防止を図ることで、継続的に活動する機会とする。 ②スポーツふれあい事業 野球、サッカー、クライミング、パラスポーツなどスポーツに親しめる「ゆるスポコース」とヨガなど定期的な運動を実施する「ミニトレコース」の2つのコースを実施。スポーツを始める機会や習慣化を図ることを目的とする。

■対象地域が抱える課題

対象地域	千葉県市原市
・高齢化の進展による健康面の懸念	65歳以上の高齢化率が3割を占め、全国平均を上回っている状況。
・子どもの運動・スポーツをする機会の減少	2015年は約28万人から、2025年は約26.6万人に減少。スクリーンタイムの増加など生活習慣の変化などにより、子どもたち同志でスポーツに触れる機会の減少が懸念される。
・地域コミュニティの希薄化	町会加入率は、2013年は61.9%から2024年には52.8%と低下し、年々コミュニティの希薄化の傾向にある。

■事業の実施体制図（学内体制に留まらず、地域の組織・団体との連携体制も示すこと）



■具体的なプログラム・活用する大学スポーツ資源

①身体機能測定事業	日付：2025年9月27日（土）、11月8日（土） 開催場所：帝京平成大学千葉キャンパス 9号館、体育館 対象：市原市並びに近隣の地域住民 大学スポーツ資源：健康医療スポーツ学部教員、学生
②スポーツふれあい事業	日付：2025年10月～12月 開催場所：帝京平成大学千葉キャンパス 9号館、10号館、体育館、うるいどグラウンド、リコンディショニングルーム、野球場、柔道場 対象：市原市並びに近隣の地域住民 大学スポーツ資源：男子サッカー部、女子サッカー部、硬式野球部、柔道部、パラスポーツサポート部、ベンチプレス部、健康医療スポーツ学部教員、学生

■期待される事業結果・効果

- 健康意識の改善（「ミニトレコース」への参加率70%以上）
健康を「しる」ことで自身の身体・健康に関する興味の向上が期待される。運動・スポーツを始める契機から定期的に活動（習慣化）することで、体力の向上など健康面の改善が図られる。
- 運動・スポーツ実施率の向上（イベント満足度80%以上）
スポーツを「する」ことで楽しさを知り、運動・スポーツを始める契機、する意欲に期待できる。クラブ等に入会し、活動することで参加者間の親睦が深まりコミュニティの活性からウェルビーイングにつながる。